



# 古賀市記者懇談会（1月）

令和3年1月21日（木）13時30分～  
古賀市役所 応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社  
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

---

## ①コロナに負けない！「オレンジ教室」新たな試み【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは介護支援課 松島＝092－942－1156）

古賀市が毎年市内全小学校で開催している認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」については、通常キャラバン・メイト「橙」が学校に出向き、授業を行っていましたが、コロナ禍で今年度の実施が難しいことから、特別に教材を作成しました。

## ②第3回古賀市コレクション展「赤星孝・信子展」【P2】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは文化課 新本＝092－940－2683）

今回は昨年に引き続き、古賀市を代表する作家赤星孝氏、信子氏ご夫妻の作品を展示します。昨年ご遺族よりご寄贈いただいた作品展示が中心となる今回は、昨年度に福岡県立美術館「赤星孝と赤星信子展」にて展示された作品に加えてこれまで展示会に出展されたことのない作品を初披露します。

## ③エコバッグ配布で二次マイクロプラスチックの抑制を【P3～4】

【古賀市役所】（問い合わせは上下水道課 内＝092－942－1129）

昨年7月からレジ袋の有料化がスタートしたものの、依然として古賀市の水源である古賀ダムや下水処理場前の海・河川には、多くのプラスチック類が投棄されています。これらは二次マイクロプラスチックとなり、水資源環境のほか動植物の生態系に大きな影響を及ぼしています。この度、上下水道課では、令和元年から官学連携協定を締結している九州産業大学と共同しエコバッグを作成しました。

## ④「テレワーク」を全庁的に試行運用【P5～6】

【古賀市役所】（問い合わせは財政課 野田＝092－942－1116）

緊急事態宣言の再発令に伴い、令和2年3月より一部の課において実証実験を行っていたテレワークを全庁的に試行運用します。

## ◎ 《お知らせ》

### ① 市民討議会の延期について【P7】

【古賀市役所】（問い合わせは上下水道課 内＝092－942－1129）

### ② おくやみ案内 2月1日から予約開始【P8】

【古賀市役所】（問い合わせは経営戦略課 波多江＝092－942－1346）

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・2月24日（水）13時30分～ 場所：古賀市役所中会議室
- ・3月24日（水）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室 A

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 波多江、吉田＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

## コロナに負けない！「オレンジ教室」新たな試み

古賀市が毎年市内全小学校で開催している認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」は、コロナ禍だからとあきらめず、新たな教材を作成、時間を短縮し実施しています。

### ■経緯・目的など

新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントが軒並み中止や延期となる中、毎年市内全小学校の5年生（小野小学校は6年生）を対象に開催している認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」について検討した結果、通常の授業時間の確保すら難しく、講座に時間を割くことは、感染防止の観点からも不可能なため、今年度早々に中止を決定しました。

しかしながら、小野小学校は毎年6年生を対象に講座を行っていたため、今の6年生が小学生で認知症を学ぶのは今年度が最後の機会。そこで、古賀市と認知症サポーター養成講座の講師役である古賀市キャラバン・メイト連絡会の役員が協議を行ったところ、「コロナ禍だからといって、子どもたちが認知症を学ぶ機会をなくしてはいけない！」と皆の意見が一致。キャラバン・メイト連絡会の会員からも「コロナ禍で様々なイベントができなくなったことに対する悔しさ」の声とともに、特に高齢者の行動範囲が制約される中、認知症のリスクが高くなる一方であるこの時期だからこそ、情報発信をして、ひとりでも多くのサポーターを養成するのが我々の務めではないか」という熱い意見が届きました。

また、各小学校に対し、今年度認知症の授業を開催することについて意見を求めたところ、すべての小学校から開催についての賛同を得ることができました。

### ■実施内容・反響など

これらをふまえて関係各所と協議を重ねた結果、授業の1コマ＝45分間（通常の講座の約半分の時間）で認知症を学習できるプリント教材を作成。あわせてオレンジリングの代わりに配布する「古賀市ジュニアサポーター」のオレンジ色のパッチンリフレクターとシールを古賀市独自で作成しました。（別途資料参照）

授業では子どもたちから「認知症の人の気持ちを理解してあげたい」「優しく対応してあげたい」といった意見があり、パッチンリフレクターを嬉しそうに身につける姿が見られました。先生方からも「認知症のことを改めて考える機会になりました」と感想をいただきました。キャラバン・メイトは「毎年子どもたちに認知症サポーター養成講座を開催できることのありがたさ」を痛感しています。

コロナ禍の現在、【あきらめない】人々の様々な熱い想いが、新しい取り組みに繋がっています。

小野小学校授業予定：1月27日（水）9時35分～10時20分（6年2組）

10時30分～11時15分（5年1組）

### 【問い合わせ先】

古賀市役所 介護支援課 包括支援センター係  
担当：松鳥 深見 吉武  
電話：092-942-1156

## 第3回古賀市コレクション展「赤星孝・信子展」

第3回となる古賀市コレクション展、今回は昨年に引き続き、古賀市を代表する作家である赤星孝氏、信子氏ご夫妻の作品を展示します。

昨年ご遺族よりご寄贈いただいた作品展示が中心となる今回は、昨年度に福岡県立美術館「赤星孝と赤星信子展」にて展示された作品に加えてこれまで展示会に出展されたことのない作品を初披露します。

### ■第3回古賀市コレクション展「赤星孝・信子展」

日時：2月2日（火）～28日（日）10時～18時

ただし月曜は休館

場所：リーパスプラザこが 歴史資料館ギャラリー 入場無料

### ■目的やキャッチフレーズ、アピールポイントなど

目的：古賀市を代表する画家である赤星孝氏、信子氏の展覧会を開催することで、作品の素晴らしさを広く知ってもらうきっかけにするとともに、本物の美術作品に触れる機会を提供する。

アピールポイント：昨年度に福岡県立美術館「赤星孝と赤星信子展」にて展示された作品を今回古賀市で観覧することができます。さらには、これまで展示会に出展されたことのない作品も初披露します。

### ■実施内容

・昨年にご遺族よりご寄贈いただいた絵画を中心に、赤星孝氏、信子氏の作品約20点を展示

#### 【赤星孝氏(1912年～1983年)略歴】

粕屋郡青柳村（現 古賀市青柳）に生まれる。第2回独立展において初出展で初入選を果たす。上京し帝国美術学校（現・武蔵野美術大学）に入学。戦後の福岡県美術協会再建に参加。1961年以降は二度渡欧し、自らの絵を追求していく。後に古賀にアトリエを構える。晩年には福岡市文化賞を受賞。

#### 【赤星信子氏(1914年～2015年)略歴】

第6回独立展において初入選を果たす。上京し、女子美術専門学校洋画師範科（現・女子美術大学）入学。1945年に孝氏と結婚した後も筆を執りながら、福岡県美術展審査委員等も務める。1990年に福岡市文化賞受賞。2015年に福岡県地域文化功労者表彰を受ける。

#### 【問い合わせ先】

古賀市教育委員会 文化課 文化振興係 担当：新本  
電話：092-940-2683

## エコバッグ配布で二次マイクロプラスチックの抑制を

昨年の7月からレジ袋の有料化がスタートしたものの、依然として古賀市の水源である古賀ダムや下水処理場前の海・河川には、多くのプラスチック類が投棄されています。これらは二次マイクロプラスチックとなり、水資源環境のほか動植物の生態系に大きな影響を及ぼしています。この度、上下水道課では、令和元年から官学連携協定を締結している九州産業大学と共同しエコバッグを作成しました。

今年の上下水道課の行事を通して、市民にプラスチックごみの削減を伝えながら配布する予定です。

### ■エコバッグ作成の目的

レジ袋の有料化から半年が経過したものの、依然として水道の水資源である古賀ダムや河川などにプラスチックごみが投棄されており、それらが二次マイクロプラスチックになることで、自然環境や動物の生態系に悪影響を及ぼしています。そこで、古賀市民の方々にエコバッグの活用をPRするため、令和元年より3年間の官学連携協定を結んでいる九州産業大学の学生さんにデザイン協力を依頼したものです。

### ■エコバッグのデザインの作成数

A	ブラック	ポリエステル	折り畳みタイプ	290mm×360mm	100個
B	カーキ	ポリエステル	折り畳みタイプ	290mm×360mm	100個
C	ベージュ	ジュート	手提げタイプ	220mm×220mm	100個
D	ベージュ	ジュート	手提げタイプ	300mm×295mm	100個
合計					400個

### ■二次マイクロプラスチックとは

レジ袋やペットボトルなどが、自然環境の中での衝突や、紫外線による劣化により破碎されマイクロサイズ（5mm以下）になったもの

### ■これまでの九州産業大学との官学連携の実績

- ・平成31年4月から導入のフリーアドレスデスクのデザイン全般
- ・8月1日の水の日にあわせポスターを作成（JRの駅やボートレース場などに掲示）
- ・給水車にデザインの上下水道課ロゴの作成など

### ■配布予定

- ・上下水道課の水に関するイベントで随時配布していく予定

### ■九州産業大学からの出席者の紹介

- ・ 建築都市工学部 住居・インテリア学科 教授 福山秀親
- 建築都市工学部 住居・インテリア学科 福山研究室
- 官美穂・北原さやか・平野 遥・前田芽衣・松村美沙

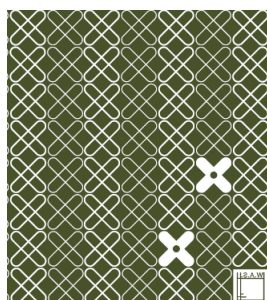
全体としてのデザインの考え方：市民にとって持ちたくなる・使い続けたいデザインであるとともに「古賀市上下水道課」の象徴としての「水」を表現しプロモーションとして寄与すること。

A



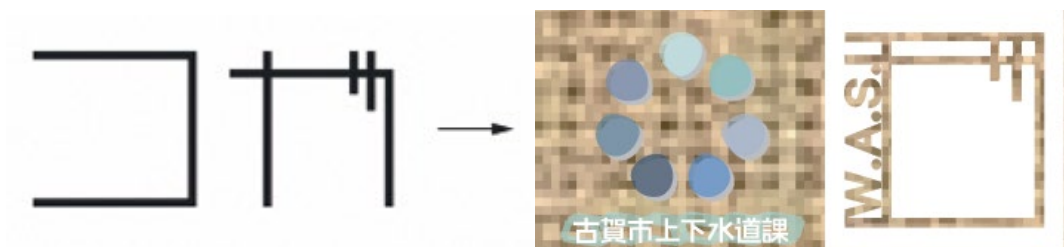
デザインの考え方：  
滴る水、古賀市の水がそれぞれの体に入るまでを表現。雨が降り古賀の水となる。

B



デザインの考え方：  
蛇口の取っ手を文様で表現。文様は繁栄を表現の基として採用した。

C、D



デザインの考え方：2018年に採用されたシンボルマークと、今回「古賀」の文字からの新しいロゴ文字を組み合わせて表現。(W.A.Sはwater(水道) and sewerage(下水道)の略)

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 上下水道課 総務・上水道管理係  
担当：内、安部 電話：092-942-1129

## 「テレワーク」を全庁的に試行運用

緊急事態宣言の再発令に伴い、令和2年3月より一部の課において実証実験を行っていたテレワークを全庁的に試行運用します。

■緊急事態宣言の再発令に伴い、令和2年3月より上下水道課で始め、建設産業部に拡げ、実証実験を行っていたテレワークを全庁的に広げました。希望する課に対して実施します。自席のパソコンに接続できることにより多くの業務がテレワークで実施できます。

■令和2年9月補正予算に計上していましたテレワーク・WEB会議用パソコン端末45台について、職員が自宅から自席のパソコンに接続できるように設定が完了しました。45台が利用可能になったことでパソコンを保有していない職員についても、テレワークが実施できるようになったものです。

一般業務に使用する端末に接続し、住民情報・税情報等が存在するネットワークの端末には接続できません。

使用する「自治体テレワークシステム for LGWAN」と「シン・テレワークシステム」はセキュリティ性の高いシステムです。

テレワーク等の端末については、コロナ禍においてはBYOD（職員保有のパソコン端末等）の利用も認め、交代勤務等が実施されても市役所の機能が維持されるように努めています。

■テレワークの開始にあたり、実施する課において、情報整理を行い、留意点等を確認した上で実施します。

本格実施については、今回の実施の内容等を踏まえ、来年度前半にも実効性のあるものにしていきたいと考えています。

### 【問い合わせ先】

古賀市役所 財政課 情報管理係

担当：野田 電話：092-942-1116

# 自治体テレワークシステム for LGWAN

IPA 独立行政法人  
情報処理推進機構  
産業サイバーセキュリティセンター  
サイバー技術研究室

IPA - J-LIS 自治体テレワークシステム for LGWAN クライアント Ver 0.10

**自治体テレワーク推進実証実験事業**

IPA & J-LIS 「自治体テレワークシステム for LGWAN クライアント」

接続先コンピュータ ID:  履歴消去(E)

接続先中継システム: Local Governments Telework System for LGWAN (Internet Side)

接続(N) キャンセル **クライアント側ソフトウェア**

IPA - J-LIS 自治体テレワークシステム for LGWAN サーバー設定ツール

**自治体テレワーク推進実証実験事業**

IPA & J-LIS 「自治体テレワークシステム for LGWAN サーバー」

自治体テレワークシステム for LGWAN サーバーの接続に関する設定

エディタ:  変更(O) 元に戻す(R)

中継システム: Local Governments Telework System for LGWAN (Internet Side)

エディタ: ipa, 自治体テレワークシステム for LGWAN 上でこのエディタで接続する  
ための名前です。最終半角よりIPアドレスを採る必要がある名前についての変更できます。

通信の方法:  通常 TCP/IP 接続 プロキシサーバーの設定(D)

プロキシサーバーを使用し中継システムに接続する必要がある場合は、プロキシ  
サーバーの設定を行ってください。

現在の状態:  正常に中継システムに接続されています。  
このコンピュータ ID は「ipa」です。 クライアントからの  
接続を許可する(O)

接続: 自治体テレワークシステム for LGWAN を自由  
にインターネットから接続できるようにします。 接続を禁止する(D)

自治体テレワークシステム for LGWAN サーバーのその他の設定

セキュリティに関する設定です。 セキュリティの情報を表示します。


セキュリティを設定してください。 パスワード情報(D) 固有(D)

ソフトウェアの動作内容に関する設定です。 この設定ツールを開発するためのスクリーンショット  
を生成します。


設定が完了しました。 設定をリロードして再試行(D)

**サーバー側ソフトウェア**


**① 事前に地方自治体の庁内 PC にソフトウェアをインストール**



**② 自宅の PC から 庁内 PC にリモートアクセス可能に**



今回 IPA で構築・設置した  
LGWAN / インターネット間  
画面転送型ゲートウェイ



「自治体テレワークシステム for LGWAN」は、「シン・テレワークシステム」を改良して新たに構築しました。



令和3年1月21日

各位

古賀市上下水道課

### 市民討議会の延期について

下記の日程で開催を予定しておりました、市民討議会「古賀市の水道の未来を考える会」については、1月13日付で緊急事態宣言が再発令されるなど、県内の感染拡大状況が深刻化している状況を鑑み、今年度の実施を中止し、来夏に延期することと致しましたのでお知らせします。なお、日程が決まりましたら再度お知らせします。

#### 当初予定していた日程

- ・2月 6日(土)14時～
- ・2月12日(金)19時～
- ・2月13日(土)14時～

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 上下水道課 総務・上水道管理係  
担当：内 電話：092-942-1129

# おくやみ案内

身近な人が亡くなられた後の市役所での必要な手続きをご説明し、少しでも負担なく手続きができるよう予約制で窓口をご案内します。ご利用ください。

※「おくやみ案内」を利用せず、直接各担当窓口で手続きすることも可能です。

「おくやみ案内」・ 予約窓口	古賀市役所 なんでもきくコーナー 古賀市駅東一丁目1番1号（第1庁舎2階） ☎（092）942-1191
手続きの流れ	①予約：手続き希望日の4営業日前（平日8時30分～17時）までに電話予約 ②手続きのお知らせ：手続き日の前日までに、担当から電話で必要な手続きをお知らせします。 ③手続き（平日9時～14時）：「おくやみ案内」での案内後、市役所の各担当窓口で手続きしてください。

【おくやみハンドブック】をご利用ください  
届出時にお渡しした「おくやみハンドブック」で  
手続きや持ってくるものを事前にご確認ください。

